

My Homework

令和 5 年 8 月 23 日 (水)

■ 個別懇談会ありがとうございました！

夏休み中は暑い中個別懇談会にお越しいただいてありがとうございました。皆さまお一人お一人とお話させていただく時間というのはいかに貴重であるかということをあらためて感じさせていただきました。お話をさせていただいたことをふり振り返りながら 2 学期もがんばっていきたいと思います。

さて、その中で中学校進学についてのお悩みなどもお聞かせいただいたのですが、そのひとつに次のようなものがありました。

中学校では宿題が生徒の自主性に任されているのですが…

これは、中学生の子をもつ親にとって、切実な悩みかもしれません。さてそこで 6 学年では、子どもたちが中学生になった時、自主的に家庭学習を創り上げていくために、何か今できることはないだろうかと考えてみました。そして 2 学期の宿題について次のように考えてみました。

子どもたちが自分の宿題を自分でプランニングして 実行するにはどうしたらよいだろうか

■ プランニングにあたって

さて、いきなり「宿題は自由です」と言われると、それが得意な子もいると思いますが、けっこう困るものでもあると思われます。やってみるものの「本当にこれでよいの？」と心配になってしまうかもしれません。そこで、まずは「自主性」の第一歩として「自主的な学習の考え方」から始めて、ある程度の制限や条件も設けながら、その中で子どもたちが、なにはともあれ「自分で進めてみる」という体験をするところから始めてみたいと思います。具体的にはこんな手順を考えています。

段階		内容
1	宿題ってなあに？	今 6 学年で出されている宿題の意味について分析してみる。
2	目標を立てる	一定の条件から短期・中期的な目標をもつ。
3	計画する	学習のおよその計画を立てる。
4	やってみる	実際にやってみる。
5	ふりかえる	計画や学習の内容を常にふりかえりながら計画・実行をくり返す。

このような宿題の出し方は今までにありませんでしたので、私たちもとにかく試行錯誤しながら、しかも、実際に行う子どもたちができるだけ困らないように進めていきたいと思っています。また、計画・実行・ふりかえりまで、担任が支援をします。ご家庭の皆さまにもご協力をお願いすることがあると思いますが、ご家族の皆さまが困ったりしないようにもがんばります！何か不明な点などありましたら遠慮なくご連絡を下さい。さて、今回はよいよ具体的に「宿題ってなあに？」のお話に入りませす。

